

「ご近所のみなさん、日本共産党（田辺博、前田京子）後援会です。この場所をお借りしまして、政策の訴えをさせていただきます。しばらくの間、ご協力をよろしく願います。」

みなさん、今年は第二次世界大戦が終わってから60年の節目です。いま世界では、ヨーロッパでもアジアでも、平和の流れが確実に広がっています。ところが、小泉内閣は、アメリカ言いなりに海外派兵と憲法改悪の道に突き進んでいます。日本共産党は、日本が過去、誤って起こした侵略戦争に最後まで命がけて反対を貫いた党として、憲法9条を何としても守り抜く決意です。

くらしの問題でも、今年度からは年金の負担増や定率減税の廃止など7兆円の国民負担、さらには消費税の2ケタ増税もたくらまれています。国民生活がたいへんなときに、こんなことは許せません。日本共産党は、平和とくらしを守るために、今後とも全力を尽くす決意です。

さてみなさん、昨年十一月の住民投票では、合併「反対」が「賛成」の倍近く上回り、自立の東金市を願う市民のみなさんの心意気が示されました。日本共産党はみなさんの願いを受け止め、これからも便利で住みよい東金市をめざしてがんばります。みなさんのあたたかいご支援を、よろしく願います。

ところがみなさん、何が何でも合併をと突き進んでいた志賀市長は、市民の審判にいったんは辞意を表明しましたが、これを撤回し「自立を選んだのだから、財政難も市民負担で」と言わんばかりに「国保税を上げる、下水道料金もあげる」と市民を脅かしています。しかもみなさん、合併ご破算で白紙に戻ったはずのゴミ袋の値上げ計画が、市民にも議会にも内緒で進められています。

みなさん、三月には県知事戦と同時に東金市議選が行われます。こんどの市議選は、知恵を出し合い、市民生活最優先に、自立の道を市民とともに堂々と歩む議員を選ぶのか、それとも「財政破綻」の脅かして住民サービス削減と住民負担増を押しつける議員を選ぶのかが問われる選挙です。

日本共産党はこれまで、乳幼児医療費の無料化や介護保険の減額免除制度、循環バスの試行運転、防犯灯の電気代半額補助を実現するなど、市民のために全力でがんばって参りました。しかし、一議席だけでは、市民の審判に居直り続ける市長に対して、辞職勧告決議案を提出することすらできず、たいへんくやししい思いをしました。三月の市議選で二議席を確保すれば、日本共産党単独でも、市民生活を守る提案も、市長と同じように議会に提案できるようになります。日本共産党とともに、希望ある東金市をつくって参りましょう。

みなさん、日本共産党は来る二月十八日金曜日の夜、東金文化会館におきまして演説会を開催します。お話しするのは、日本共産党の県議団長、小松実県会議員です。いまでも水道料金が高いのに、さらに値上げにつながる八ツ場ダム建設など、無駄と浪費を続ける一方で、東金病院など県立病院の統廃合をすすめる堂本県政に対し、県民本意の本当の改革の道をお話します。市会議員の田辺博、市民相談室長の前田京子もお話します。日本の平和とくらし、明日の東金市について、じっくりと考えましょう。どなたでも参加できます。ぜひお気軽にお越しください。

最後に、日本共産党の「しんぶん赤旗」を紹介させていただきます。芸能人やスポーツ選手も、平和やくらしに対するしつかりした意見を乗せていることも、他紙にない魅力です。真実を報道し、読めば勇気が湧く、日本共産党の「しんぶん赤旗」のご購読をお願いいたします。この場での訴えを終わらせていただきます。長い間の「清聴・ご協力ありがとうございました。」